

令和5年度 社会福祉事業従事者等研修事業報告



社会福祉事業従事者等研修事業報告

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会
岐阜県福祉人材総合支援センター

報告の内容

- 1 今年度の研修実施方法
- 2 令和5年度 研修実施結果一覧
- 3 課題別研修の実施状況
- 4 キャリアパス対応生涯研修課程の実施状況
- 5 受講者の反応（受講者アンケートより）
- 6 事業所の反応（事業所アンケートより）
- 7 次年度の研修実施に向けて（課題と対応）

1 今年度の研修実施方法

- Zoomを活用した研修

→令和5年度の課題別研修は、前年度に引き続き、受講者が「会場受講」「Zoom受講」を選択できるハイブリッド型研修を実施した。

→キャリアパス対応生涯研修課程は、前年度に引き続き「会場開催」と「Zoom開催」を日程を分けて開催した。

- 従来通りのグループワーク

→令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことから、会場受講者は従来通りの形でグループワークを行った。

(1グループあたり6人でワーク、アクリルパーティションの撤廃等)

2 令和5年度 研修結果一覧

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

コース名	開催日	全体申込者数	内WINCシステム利用者数	受講者数(会場)	受講者数(Zoom)	受講者数(合計)	実施方式	備考
初任者 会場	7/12~13	55	38	50	-	50	会場集合	
初任者 Zoom	8/30~31	72	53	-	70	70	オンライン	
中堅職員 会場	8/9~10	48	34	43	-	43	会場集合	
中堅職員 Zoom	7/27~28	79	62	-	70	70	オンライン	

2 令和5年度 研修結果一覧

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

コース名	開催日	全体申込者数	内WINCシステム利用者数	受講者数(会場)	受講者数(Zoom)	受講者数(合計)	実施方式	備考
チームリーダー会場	8/17~18	44	33	38	-	38	会場集合	
チームリーダーZoom	9/21~22	51	41	-	48	48	オンライン	
管理職員会場	9/27~28	25	20	23	-	23	会場集合	

2 令和5年度 研修結果一覧

課題別研修

コース名	開催日	全体申込者数	内WINCシステム利用者数	受講者数(会場)	受講者数(Zoom)	受講者数(合計)	実施方式	備考
失敗しない 福祉職員マナー研修	5/30	62	42	18	44	62	Zoom併用	
知って助かる リスクマネジメント研修	6/5	115	58	36	77	113	Zoom併用	
学んで実践 クレーム対応研修	6/16	91	55	29	59	88	Zoom併用	
介護職が知っておきたい 医学知識基礎講座①	6/30	101	42	34	60	94	Zoom併用	
介護職が知っておきたい 医学知識基礎講座②	7/21	86	56	34	49	83	Zoom併用	
職員間のよい人間関係の 築き方研修	7/3	81	49	34	36	70	Zoom併用	

2 令和5年度 研修結果一覧

課題別研修

コース名	開催日	全体申込者数	内WINCシステム利用者数	受講者数(会場)	受講者数(Zoom)	受講者数(合計)	実施方式	備考
災害時に役立つ 介護技術研修 基礎編	8/21	59	39	16	39	55	Zoom併用	
災害時に役立つ 介護技術研修 応用編	9/4	60	39	23	35	58	Zoom併用	
ともに語り合っ て支える ナラティブ・ア プローチ 研修	9/11	67	45	29	34	63	Zoom併用	
すぐに身に付く 介護職員記録 研修	10/6	67	51	26	39	65	Zoom併用	
失敗を次につな げる問題 解決スキルア ップ研修	10/11	75	47	21	49	70	Zoom併用	
虐待にならない スピーチロック 回避研修	10/20	126	79	52	66	118	Zoom併用	

2 令和5年度 研修結果一覧

課題別研修

コース名	開催日	全体申込者数	内WINCシステム利用者数	受講者数(会場)	受講者数(Zoom)	受講者数(合計)	実施方式	備考
元気な職場メンタルヘルス研修	11/16	57	38	21	30	51	Zoom併用	
みんながいきいき福祉の職場改善研修	11/22	77	47	29	44	73	Zoom併用	
ワンチームでターミナルケア研修	11/30	90	48	32	55	87	Zoom併用	
合計		1,588	1,016	588	904	1,492		

- 今年度は、1,588名の申込があったうち、1,492名が受講された。
⇒上記申込者数のうち、研修WINCシステムを利用されたのは1,016名（約64%）であった。
- 会場受講者とZoom受講者の割合が、昨年度は3：7であったのに対し、今年度は4：6となった。会場受講を選択する受講者が少しずつ増えていると同時に、依然としてZoom受講のニーズが高いことが伺える。

3 課題別研修の実施状況

- 従来通りのグループワーク

→昨年度までは、受講者席用のアクリルパーティションを設置し、1グループあたりの人数を減らす等して、規模を縮小したグループワークを行っていたが、今年度の研修は、コロナ禍前に行っていた従来の形でグループワークを再開した。

(※グループワーク中は、マスク着用協力依頼、各グループテーブルに手指消毒液・アルコールウェットティッシュ等を設置して実施した。)



- Zoom受講者への配信対応

→Zoom受講者へ、講師の講義や会場受講者の発表内容をより正確に伝えるために、研修のZoom配信体制を強化した。

講師のZoom用
マイクとして、
USBピンマイク
を導入。



ビデオカメラで講師の講義の様子や、会場受講者の模造紙を使用した発表等をZoom受講者へ配信。

4 キャリアパス対応生涯研修課程の実施状況

会場開催の様子



今年度より、従来の形のグループワークを実施。1グループ5～6人でワーク、パーティションの撤廃。

従来のように、机上に模造紙を広げ付箋を使ったグループワーク実施。



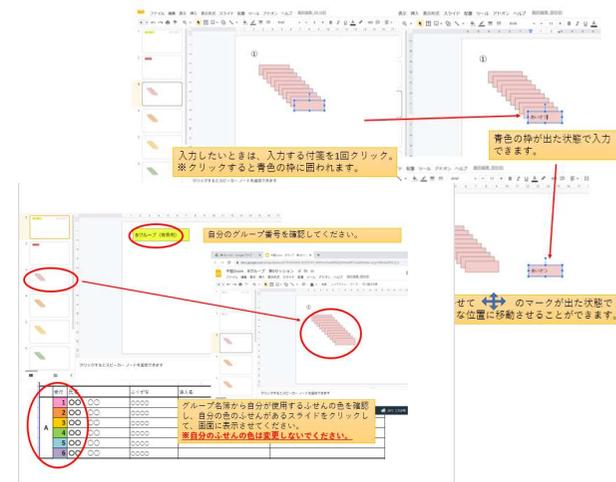
(※グループワーク中は、マスク着用協力依頼、各グループテーブルに手指消毒液・アルコールウェットティッシュ等を設置して実施した。)

Zoom開催の様子

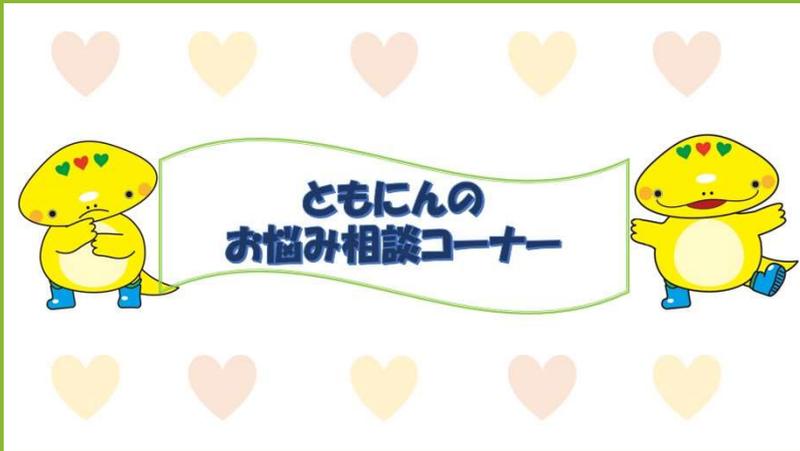


昨年度と同様にGoogleスライドという機能を使用したグループワークを実施。事務局よりファシリテーターを配置し、受講者をサポート。

受講決定の際に、上記Googleスライドのマニュアル配布と、事前操作テストの案内を送付。操作に不安がある受講者に対し、事前に質問に答える等対応した。



受講者交流サイト 「ラーにん広場」



令和5年度は、「ともにんのお悩み相談コーナー」と題して各研修毎にひとつ相談事を紹介し、それらに対して受講者様からのアドバイスを募集しました。

受講者の皆さんからいただいたアドバイスを、ラーにん広場にてご紹介しています。

*ポータルサイト内「受講者交流サイトラーにん広場」に掲載中！

ともにんのお悩み相談コーナー 今のお悩み

施設内で認知症を患っているご利用者様が他のご利用者様にお話しされた事を忘れてしまい、「言った」「言わなかった」と口喧嘩になってしまいました。ご病気のことを説明することも難しいですし、どのように対応するのが一番良いのか悩んでいます。

解決方法1：メモをとる

日記など話したことを書き残す。

紙に書いて確認の名前、記入をしてもらう

言った、言わなかったではいつまでたっても終わらないので、大切な事などはメモ書きして渡します。証拠も残って良いと思います。

次からは言われたことをメモしてはっておくように提案する。今回についてはお互いに言っていない、言っていないと和訳する。

お互い距離をおいて一人一人とお話しをする。個別で話した内容をメモに残す

病気のことを説明し、どのような事をお話しされたか一緒に伺う。内容をかみくだき分かりやすいように説明し、必要であれば紙に書いてお渡しする。

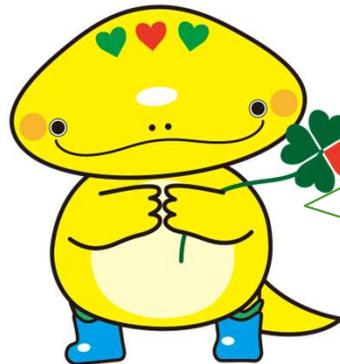
解決方法2：場所を変えます

場所を移動し、お話しを聞き、落ち着いていただく

違うことに意識を向けってもらうようにする。
レクリエーションや散歩とか。

感情をリセットするために、一時的に別々の場所ですごす。
散歩するなど気分転換を図る。お茶や水などを飲む。

一旦離れてそれぞれお話しを聞く。一人一人に話を聞き賛同する



受講者様から
たくさんのアドバイスを
お寄せいただきました！

ともにんのお悩み相談コーナー 今のお悩み

介護職員（10年以上の経験者）が、自分に都合の悪い利用者様（認知症で手回しかかる方など）に対し高圧的な態度や口調になります。何卒注意しても同じ事をくりかえすのですが、どうしたら改善されるのでしょうか。

研修を受けてもらう

・人の尊厳の研修をする。どうしてそんなことをするのか教えてもらう。
・認知症について、振った認識があるのでは？認知症の研修を行ってみたらどうでしょうか？又は研修で逆の立場になったロールプレイングをしてみれば。

・認知症についての勉強に参加して学ぶ。異動の検討が必要ではないか

・高圧的な態度や口調をしても利用者の変化がみられていないことから、同じ関わり方では変化がない事を認識してもらう。どうすると良いか認知症について学習する機会を提供する。また、他の職員の間わり方を、参考にして関わり方を学べるようにしてはどうか。外部講師による虐待の研修を受けて自分の行動を見直せる機会を設けてはどうか。

・改善するかは分からないのですが、認知症とは、というところの研修をする。その中で、その職員がやっている事を職員の間みない物で実際にやってみて、どういう心理に利用者様になっているかを知ってもらう。あとはアンガーマネジメント等を活用する。

部署を変える

・注意の回数、仕方にもよりますが、手をつくしても改善されないのであれば、部署、ユニット変更をおすすめします。変更が困難であれば、適性がないと話してみれば？
・職員を一回その利用者様から離れてみて考えてもらう（関わり方について改めて）

みんなで取組もう

・施設全体で取り組まなければ難しいと思います。
・周りの他のスタッフがその課題を共有し、丁寧に接する事が当たり前の環境をみんなで作る。

5 受講者の反応（良かった点）

* 受講者アンケートの結果から

<会場受講者>

- グループワークで、他の施設の方と交流できたことで現場での悩みや迷いが和らいだ。
- 研修を通して、同じ分野で働く方と知り合えて、話をするのができたのが良かった。

<Zoom受講者>

- 遠方にいると、なかなか会場まで出向いて研修を受けることが難しい為、Zoomの研修は移動がなく受けやすい。
- グループワークで他の施設の方と交流できてよかった。頑張っている福祉従事者がいる事に励まされた。

5 受講者の反応（次年度以降の課題となる点） ＊受講者アンケートの結果から

- もっと実際に道具等を使うのかと期待して、Zoomでなく会場研修を選んだが（道具を使う等実演・体験がなかったので）少し残念だった。（災害時に役立つ介護技術研修）
- Zoomで演習はできたが、（ロールプレイ等は）会場で実際に顔を見て話ができたほうが演習になったと思った。（ナラティブ・アプローチ研修）
- 動画によるオンデマンド配信等があると、いつでも見ることができるので嬉しい。
- 研修の内容を小分けにして、1日にかかる時間を短くしてほしい。

6 事業所の反応 ＊事業所アンケートの結果から

今年度は、岐阜県福祉人材総合支援センター主催の研修に対するニーズ把握のために、県内の介護・福祉事業所を対象にアンケート調査を行った。

【当センターの研修事業を利用したことがある事業所】

当センターの研修対象について

a <u>初任・入職間もない方を対象とした研修を望む</u>	27%
b <u>中堅・リーダー対象の研修を望む</u>	28%
c 管理職対象の研修を望む	14%
d <u>非常勤・パート勤務職員の研修を望む</u>	20%
e 外国人人材対象の研修を望む	7%
f その他	2%
回答なし	2%

- 初任・入職間もない方や、中堅・リーダー層を対象とした研修を望む声が多かったのに次いで、非常勤・パート勤務職員への研修を望む回答が多かった。

6 事業所の反応 * 事業所アンケートの結果から

【当センターの研修事業を利用したことがない事業所】

具体的にどのような研修であれば利用されるか

a 資格がとれる研修	13%
b 短時間で受講できる研修	19%
c 受講料が無料、もしくは安価な研修	25%
d 著名な講師が指導する研修	2%
e 受講後に施設・事業所内で共有しやすい研修	21%
f オンデマンド配信（動画視聴）研修	14%
g セミナーや講演会形式の研修	2%
h 宿泊を伴う研修	0%
i その他	1%
j 回答なし	3%

- 研修に参加できない理由で最も多かったのが「人的余裕がない（40%）」であることから、「短時間で受講可能な研修」や「受講後に事業所内で共有しやすい研修」、「オンデマンド配信（動画視聴）研修」のニーズが高いことがわかった。

7 次年度の研修実施に向けて（課題と対応）

①オンデマンド配信（動画視聴）研修の実施

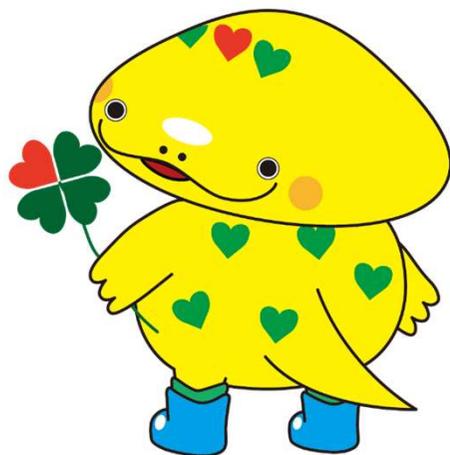
- 来年度は、人的余裕がなくこれまで研修参加が困難であった事業所や、非常勤・パート勤務職員等幅広い職員の研修受講促進を目的として、事業所内で期間内にいつでも何度でも視聴できる「オンデマンド配信（動画視聴）研修」を一部の研修で実施を検討する。

②研修の内容に応じた実施方法の選択

- これまで、課題別研修を全てハイブリッド型で実施したが、研修の内容に応じて「会場開催」「オンライン開催」等の実施方法を検討していく。

⇒道具を使って実演・体験が有効な研修や、ロールプレイを何度も行う研修等、対面での実施が有効な研修については、会場開催を検討する。

⇒初任・中堅職員や、非常勤・パート勤務職員等へのニーズが高く、幅広く受講を促す研修については、オンラインで開催し半日で受講可能な研修を検討する。



岐阜県福祉人材総合支援センター 事業案内

- ・ 無料職業紹介事業所 求人事業所・求職者マッチング支援
- ・ 福祉の職場体験事業
- ・ 福祉・介護の職場従事者向け各種研修
- ・ 介護福祉士等届出制度 届出者支援
- ・ 介護福祉士等修学資金貸付制度 など

□□□ お問い合わせ □□□
社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会
岐阜県福祉人材総合支援センター

〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 福祉・農業会館
TEL：058-278-1823（研修直通）

発行：令和6年4月1日